

【指導者実技講習会報告】

11月30日(土)、片倉高校にて指導者実技講習会が開催されました。当日は快晴で、市内の10チームから19名の指導者が参加され、東京都サッカー協会技術委員会育成部、FC東京普及部の秋山敬貞氏の指導のもと、さわやかな汗を流しました。

秋山氏は、最初の講義の中で「ジュニア年代では、テクニックはもちろん重要ですが、サッカーの原理・原則をしっかりと理解させ、身に付けさせてほしい」ことを強調されました。また実技指導の中では、今年度のナショナルトレセンで実施されたメニューも紹介していただきましたが、子ども達の力量に応じ、オーガナイズ(グリッドの広さや人数)を適切に変更することが大切であると繰り返し述べられました。参加した人達は、「プレーする子ども達をよく観察し、子ども達が楽しくサッカーに取り組めるように、柔軟に対応できる者が良い指導者である」ということが理解できたのではないかと思います。

講習終了後には、秋山氏や技術委員会メンバーに熱心に質問をする参加者も見られました。また「来年も参加したい」との声も聞かれました。参加した皆さんには、体験したメニューを子ども達の力量に合わせて変更し、自分のチームに是非、還元していただきたいと思います。



【熱心に指導される秋山氏(中央でビブスを着用していない方)】

今年度の技術委員会主催の講習会はこれで終了です。次年度も協会HPを通じてご案内しますので、多くの指導者の皆さんの参加をお待ちしております。